

令和5年度 国語科教員授業研修会（兼 新任授業研修会）研修活動報告

1. 日 時 令和5年10月30日（月） 13:45 ～ 16:00
2. 会 場 静岡学園中学校・高等学校
静岡市葵区東鷹匠町25 電話 054-200-0191
3. 研修テーマ 観点別評価を見据えた新科目指導の工夫
4. 参加者 国語科教員、国語科新任教員(1～5年目)等 23名
5. 日 程
13:45～13:55 開会式 部会長挨拶 オイスカ浜松国際高等学校 校長 鬼石貞治 先生
会場校校長 静岡学園中学校・高等学校 校長 鈴木啓之 先生
14:05～14:55 研究授業
(6限) 授業者 静岡学園高等学校 原田隆伸 先生
クラス 高校1年4組
授業内容 『土佐日記』「馬のはなむけ」
観点別評価を見据えた複数テキスト読解



- 15:05～15:55 研究協議 ・研究授業振り返り
・観点別学習の評価及び ICT の活用に関する情報交換
- 15:55～16:00 頃 諸連絡・アンケート記入・解散

6. アンケート集計結果（19 枚）

1. 研修に参加して
 - 1) とても参考のなった …7
 - 2) 参考になった …9
 - 3) 物足りない …2
 - 4) 別の内容がよい …0
2. 具体的に参考になったところ
 - ・共通テストや入試を意識した題材の提供

- ・原田先生の教材研究の深さ
- ・古典における文法の反復の大切さ
- ・板書で授業をする大切さ
- ・授業展開の仕方やスピード感、テンポのある発問のかけ方
- ・教員と生徒の距離感

3. 今後希望する研修内容

- ・ICTを使用した授業の参観、実践例、メリットやデメリット
- ・観点別評価の方法や評価基準、ルーブリック
- ・グループワークやディスカッション
- ・日本と漢文学
- ・新課程の科目の授業の参観
- ・表現力を身につけるための実践
- ・デジタル教科書、プロジェクターやタブレットの使用実践

4. 感想、ご意見

- ・学ぶ意義や目的を持った生徒たちとの授業を見て、学ぶおもしろさや楽しさ、必要性を気づかせる大切さを感じた。
- ・学力に関係なく、まずは生徒が「面白い」と思える教材選びが必要だと感じた。
- ・同年代の先生の授業を参観し協議する機会が少ないので、刺激になり、改めて教材研究の大切を振り返るきっかけになる。